

普及所跡の施設利用計画を示せ

農業支援のための中核施設として



上原 正一 議員

県の施設の統廃合によって大崎普及所跡を町に譲渡されたと聞いていたが、利用計画を示せ。

担い手育成総合

支援センターとして

町長

県から無償譲渡を受けた旧普及所施設は、平成18年12月県有財産譲与契約を締結した。本町は農業が基幹産業であるため仮称「大崎町担い手育成総合支援センター」として有効利用を図りたい。



有効利用が望まれる旧普及所施設

土壌診断室の

使い道は

上原議員

普及所の裏にある旧果樹試験場土壌診断室はどのように利用するのか。

陶芸の場として

利用する

町長

所有権移転が終わる次第、陶芸教室や高齢者の生きがいづくりのため、陶芸の場として整備をしたい。

持留川拡幅工事

計画は

上原議員

異常気象が当たり前となってきた。雨の降り方で浸水する三文字地区を救うには、持留川の拡幅をして水の流れを良くすることが、大切と思うが計画はないのか。また、上流の排水路整備をするときは調整池を作り、一緒に整備したほうが良いのではないか。

寄州の除去を

徹底する

町長

現在拡幅計画はない。排水路整備をするとき調整池も洪水を防ぐ一つの手段である。寄州を除去し流水の疎通を妨げないよう維持管理を徹底するよう県にも要望していく。

下永吉の

基盤整備を急げ

上原議員

台地一帯を基盤整備するのではなく、道路を一本ごとに抜くような部分的な整備はできないか。

地元の同意、

総意が必要

町長

必要性は十分認識しているが、地元の同意・熱意が必要。町にとつても長年の課題であり今後も鋭意取り組んでいきたい。



整備の望まれる下永吉の畑大地

工事進行に

目途がついてから

町長

今までも東申良と何度も検討会をしてきた。地権者の1・8%の同意が得れていないので計画の平成24年度の完成は難しい。東申良町1・1kmの改修と、大崎町側3・2kmの改修工事計画に目途がついてからが良い。

汐入川改修推進協議会

設置はできないか

上原議員

いろいろな問題がある汐入川改修だが、東申良町と両町で推進協議会を設置し、国・県への働きかけをすることにより少しでも早く解決するのではないか。